

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)

【公表番号】 特表 2001-517121(P2001-517121A)
【公表日】 平成 13 年 10 月 2 日 (2001.10.2)
【出願番号】 特願 平 10-541117
【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 F 13/53

A 6 1 F 5/44

A 6 1 F 13/15

A 6 1 F 13/49

【F I】

A 6 1 F 13/18 3 0 0

A 6 1 F 5/44 H

A 4 1 B 13/02 C

【手続補正書】
【提出日】 平成 17 年 1 月 19 日 (2005.1.19)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 補正の内容のとおり
【補正方法】 変更
【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成 17.1.19 年 月 日

特許庁長官 小 川 洋 殿



1. 事件の表示 平成 10 年特許願第 5 4 1 1 1 7 号

2. 補正をする者

事件との関係 出 願 人

名 称 ハックルーキンバリー ドイチュラント ゲゼルシャフト
ミット ベシュレンクテル ハフツング

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区丸の内 3 丁目 3 番 1 号
電話 (代) 3211-8741

氏 名 (5995) 弁理士 中 村 稔



4. 補正命令の日付 自 発

5. 補正対象書類名 明細書

6. 補正対象項目名 明細書



7. 補正の内容



(1) 本件明細書第22頁第3行から20行までの“図11eからfは、ポリメチレン尿素粉末・・・約8Nmまで上昇する(図11f)。”の記載を、「図11eからfは、ポリメチレン尿素粉末剤若しくはポリメチレン尿素／ポリアクリレート(超吸収剤)混合剤に、ある量の血液代用液(BSS)を加えて混ぜ合わせたときのトルクを(Ncm単位で)示す。図11aは、純粋なポリメチレン尿素を表し、大凡1mlのBSSで最大値が約2Ncmを示している。図11bに示すように重量単位でポリメチレン尿素8に対し重量単位でポリアクリレート(SAP)1の割合にしても、また(図11cに示すように)重量単位でポリメチレン尿素4に対し重量単位でポリアクリレート(SAP)1の割合の混合剤にしても、同様の結果となるが、最大値は1mlのBSSでわずかだが上がっている(図11bでは約2.4Ncm、図11cでは約2.8Ncm)。

重量単位でポリメチレン尿素2に対し重量単位でポリアクリレート(SAP)1の割合から成る混合剤を試験すると、1mlで最大値は約3.2Ncmまで上昇し、約7mlのBSSでは第2の最大値4.2Ncmが発生する(図11d)ことが明らかとなる。重量単位でポリメチレン尿素とポリアクリレート(SAP)の割合を等しくした混合剤では、約2.5Ncmの第1の最大値は約1.8ml BSSで発生し、約6Ncmの第2の最大値は約8.3ml BSSで発生する(図11e)。重量単位でポリメチレン尿素1に対し重量単位でポリアクリレート(SAP)2の割合の混合剤では、この第2の最大値は約8.3mlで約8Ncmまで上昇する(図11f)。」に訂正する。